

日本臨床内分泌病理学会 理事会 議事録

日 時：2023 年 6 月 2 日（金）12：00～13：00

場 所：名古屋国際会議場 1 号館 3F 会議室 133+134

出席者：方波見卓行、近藤哲夫、西岡 宏、井下尚子、田辺晶代、中村保宏、柴田洋孝、
矢澤卓也、水上浩哉、大月道夫、井野元智恵、福岡秀規、和田典男、長村義之、
山田正三、笹野公伸

欠席者：鈴木 貴、松野 彰、中島正洋、田中知明、伊藤公一、大池信之、大山健一、
菊地元史、成瀬光栄

同席者：事務局

議 題：

<審議事項>

1. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の候補者の件
2. 研究賞（最優秀賞・奨励賞）選考委員の件

<報告事項>

3. 第 26 回（2022 年度）学術総会の報告
4. 第 27 回（2023 年度）学術総会の概要
5. 第 28 回（2024 年度）学術総会の準備状況
6. 学会ホームページへのバナー広告掲載状況
7. 会員専用サイト 内分泌病理の最新 Topics について
8. コンサルテーションの状況
9. 第 97 回（2024 年度）JES 学術総会プログラム委員会の結果
10. 会員の状況について
11. 学会への寄付金、奨学金、賛助会員の状況
12. 次回理事会の開催予定について

冒頭、方波見理事長より、会則の定足数を満たす理事が出席しているので、本理事会は成立する旨報告があり、引き続き同理事長により議事進行が行われた。

1. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の候補者の件

方波見理事長（学会賞選考委員長）より特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の候補者について選考委員会での結果が報告され、理事会において満場一致で承認された。

- ✓ 応募締切：2023 年 2 月末日
- ✓ 特別功労賞選考委員会（書面による持ち回り審議）：2023 年 3 月 16 日～24 日
- ✓ 佐野賞・亀谷賞選考委員会（書面による持ち回り審議）：2023 年 3 月 16 日～24 日
- ✓ 選考委員：委員長 ＝ 理事長、委員（7 名）＝ 副理事長、五筆頭理事、
当該年度会長（各賞応募者の推薦者は選考に参加せず）

（1）特別功労賞

覚道 健一（名誉会員、和泉市立総合医療センター 病理診断科 特別顧問）

寺本 明 (名誉会員、湘南医療大学 副学長)

(2) 佐野賞

小野 美澄 (評議員、東北大学病院)

テーマ：分子病理学的検討を用いたアルドステロン産生副腎皮質腫瘍の病態解明

(3) 亀谷賞

阿部 一朗 (評議員、福岡大学 筑紫病院)

テーマ：褐色細胞腫及び paraganglioma (PPGL) における臨床的病理学的研究

2. 研究賞選考委員 (3 名：会長推薦) の件

柴田理事 (第 27 回学術総会会長、研究賞選考委員長) より、今年度選考委員として、大月道夫理事、鈴木 貴理事、田辺晶代理事を推薦したいとの提案があり、満場一致で承認された。

3. 第 26 回 (2022 年度) 学術総会の報告<決算を除く>

西岡理事 (第 26 回会長) より、昨年度の学術総会の概要が報告され、88 名の参加者 (一般・学生・招待) を得て成功裏に終了したことが述べられた。

- ✓ 会 長：西岡 宏 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院 間脳下垂体外科 部長)
- ✓ 日 時：2022 年 10 月 28 日 (金)・29 日 (土)
- ✓ 会 場：ソラシティカンファレンスセンター
- ✓ テーマ：来し方行く末
- ✓ 参加者：88 名 (一般：75 名 学生：1 名 招待：12 名)
- ✓ プログラム：特別講演 1 題
受賞講演 2 題
教育講演 2 題
CPC 6 題
ランチョンセミナー 2 題
シンポジウム 13 題
一般演題 22 題
YIA 4 題

4. 第 27 回 (2023 年度) 学術総会の概要

柴田理事 (第 27 回会長) より本年度の学術総会は、2023 年 9 月 22 日 (金)～23 日 (土) に「病理から迫る内分泌学の源泉」をテーマに、J:COM ホルトホール大分にて開催することが報告された。現在一般演題募集中であり、数多くの演題を登録いただきたいとの依頼があった。

5. 第 28 回 (2024 年度) 学術総会の準備状況

中島理事 (第 28 回会長) がご欠席のため、代理で方波見理事長より 2024 年 10 月 11 日 (金)～12 日 (土) に出島メッセ長崎にて開催予定であることが報告され、中島理事からのコメントが紹介された。

『長崎新幹線のターミナル駅のすぐそばで、新しいホテルも隣接したアクセスの良い場所ですので、多数の参加をお待ちしております。』

6. 学会 HP へのバナー広告掲載状況

柴田理事より今年度は全 11 社（エーザイ、JCR ファーマ、帝人ファーマ、日本イーライリリー、ノーベルファーマ、ノバルティスファーマ、ノボノルディスクファーマ、富士フィルム和光純薬、レコルダティ・レア・ディジーズ・ジャパン、ロシュ・ダイアグノスティクス、バイタルネット_賛助会員）のバナーが掲載されることが報告された。

7. 会員専用サイト 内分泌病理の最新 Topics について

方波見理事長より会員専用サイトの 2023 年度の ID・PW は会費請求に同封の上、4 月 25 日に発送済みであることが報告された。内分泌病理の最新 Topics の第 6 回目は、近藤理事に依頼、第 7 回は池田幹事に依頼を予定している。原稿は年 4 回の掲載を目指しており依頼があれば 2 か月を目途に執筆をお願いしたいと述べられた。

8. コンサルテーションの現状について

近藤理事より、2022 年度上半期は 3 件の依頼があったことが報告された。

9. 第 97 回（2024 年度）JES 学術総会プログラム委員会の結果

中村理事より、6 月 2 日（金）に名古屋で開催された第 3 回プログラム委員会からの報告として、本学会からは指定演題として、特別講演：1 題、シンポジウム：5 題、教育講演：5 題、臨床カルアワー：5 題を提案しているが、プログラム編成は現在検討中であり、7 月末に確定、8 月上旬から依頼、10 月上旬より抄録の執筆依頼を行うスケジュールであることが報告された。特別講演、教育講演、臨床カルアワーは例年通り、シンポジウムは 17 演題を予定されており、第 96 回総会と比べ若干減る予定だが、各分科会からは少なくとも 1、2 題は採択される見込とのこと。

10. 会員の状況について

田辺理事より、2022 年度末の会員状況が報告された。会員総数としては、ここ数年コロナ禍で会員数が減少傾向であると報告された。方波見理事長より、演題をより多く出させていただく事が重要であるが、糖尿病学会との新専門医制度が加わったことにより、今後の新規入会獲得のために現地で学術総会に参加し、他分野とディスカッションできるような若手向けのセッションを取り入れることが必要であるとコメントされた。

11. 学会への寄付金、奨学金、賛助会員の状況

方波見理事長より、賛助会員は今年もバイタルネット 1 社であることが報告された。

12. 次回理事会の開催予定について

方波見理事長より、秋理事会は第 27 回学術総会（大分）の開催前日の 2023 年 9 月 21 日（木）の夕方に開催予定であり、演題を出せる施設があれば、是非応募してほしいと依頼された。

以上

(作成：事務局、理事長/副理事長/筆頭理事：校閲済)